

2014年9月10日

報道関係各位

三菱地所株式会社
ロックフェラーグループ・インターナショナル社

マンハッタンで保有するオフィスビルが
LEED Silver 認証を取得
～大規模リニューアルで更なる競争力向上へ～

三菱地所株式会社の米国子会社であるロックフェラーグループ・インターナショナル社 (Rockefeller Group International, Inc.) が米国ニューヨーク州マンハッタンで保有する旗艦ビル「1221 Avenue of the Americas」が、今般、LEED Silver 認証を取得しましたので、お知らせします。



1221 Avenue of the Americas 外観



LEED® Silver のロゴ

LEED 認証とは、Leadership in Energy and Environmental Design の略で、米国グリーンビルディング協会 (U. S. Green Building Council) が開発・運用する、環境に配慮した建物に付与される任意の認証制度です。建物全体の企画・設計から建築施工、運営・メンテナンス等、多岐に亘る項目に対して環境負荷や省エネ性能の観点から評価され、Platinum、Gold、Silver、Certified の4段階の認証に分かれます。

米国において既存のオフィスビルが竣工後に LEED を取得する場合、原則として環境性能が全米のオフィスビルで上位 25%程度と認められる水準の高度な運営・メンテナンスが必要とされます。LEED 認証が入居先選定の条件とするグローバル企業の増加等により、本件認証を取得することでテナントリーシング上の競争力が向上し、延いては資産価値の向上に繋がるとされます。

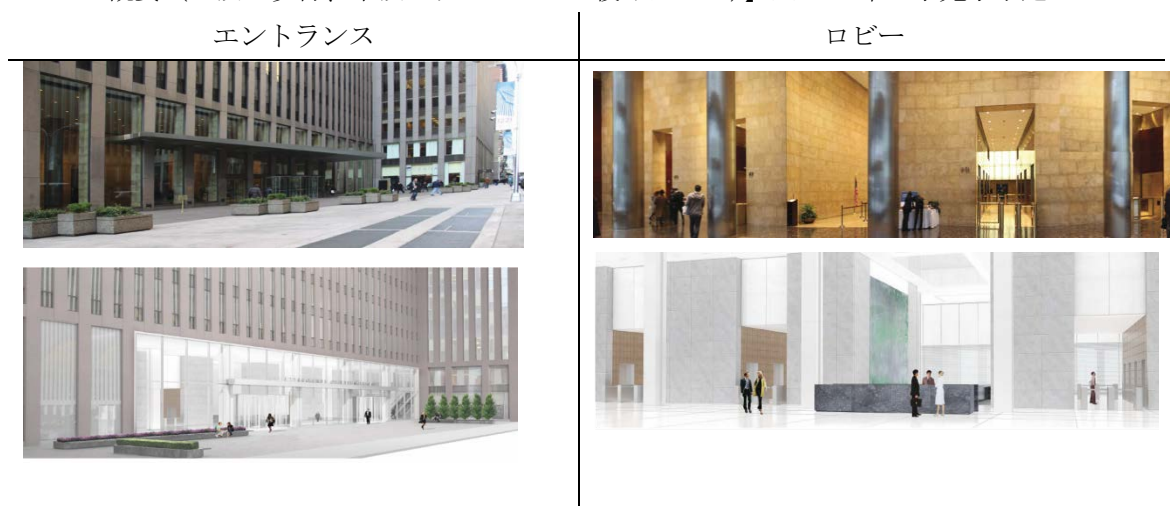
1972年に竣工した本物件は2009年に Certified 認証を取得していましたが、水利用効率の向上等が評価され、今般、Silver 認証を取得するに至りました。また、同ビルでは、現在、エントランスやロビーの改修に加え、エネルギー効率の高いエレベーターシステム導入等の大規模なリニューアル工事を進めており、これにより、更なる環境性能の向上と、オフィスビルとしての競争力強化が期待されます。

三菱地所グループでは、「三菱地所グループ環境基本方針」に基づき、将来に向け、地球環境との共生に積極的に取り組むため、「三菱地所長期環境ビジョン」を策定しており、今後、米国事業においても、LEED 認証の取得を含め、環境負荷や省エネ性能に配慮した取り組みを進めてまいります。

【1221 Avenue of the Americas 概要】

所在地	1221 Avenue of the Americas, New York, NY
敷地面積	10,075 m ²
建物規模	地上 51 階、地下 5 階
建物賃貸可能面積	239,488 m ²
建物用途	オフィス、商業
竣工	1972 年

【リニューアル概要（上段：現行、下段：リニューアル後イメージ）】※2015 年工事完了予定



- ・エントランス 意匠柱を撤去し、壁面をガラス張りに改修
- ・ロビー 明るい基調の部材を多用。また、より分かりやすい動線を確保

【米国にて保有する主な LEED 取得物件】

ビル名	1101 K Street, NW	1100 1 st Street, NE	1271 Avenue of the Americas
外観			
所在地	ワシントン D.C.	ワシントン D.C.	ニューヨーク州 マンハッタン
LEED 認証	Gold	Gold	Silver

【ロックフェラーグループ・インターナショナル社 (Rockefeller Group International, Inc.) 概要】

1928年に会社設立後、80年以上に亘り、米国を中心に不動産の開発、保有、及び投資マネジメント事業等を展開。ニューヨーク州マンハッタンにおけるロックフェラーセンターに代表される大規模・複合開発を多数手掛けてきた実績を有し、会社設立後の商業用不動産の開発規模は総計約4,000万sf（約370万㎡）に上り、現在も同州マンハッタンにて、今回LEED Silver認証を取得した1221 Avenue of the Americas及び1271 Avenue of the Americas（同LEED Silver認証取得済）といった大規模オフィスビルの保有・管理を手掛ける。三菱地所が1990年に資本参加（1997年に完全子会社化）して以降、三菱地所グループ全体の海外事業展開の中核的役割を担う。

*The
Rockefeller
Group*